

わたしの中の せんそう③

地下 末吉
(高石市)

大正元年(一九一二年)生まれ

警備から帰って間もなく、私は京城兵事に転属されました。内地では連隊区司令部といって、兵籍に關係の事務―往復文書、通達などの清書―でした。事務のかたわら、管内の徴兵検査や、在郷軍人の査閲に、検査官の助手として出張しました。検査官が読みあげる軍人勅諭の持ち運び、検査の成績を文章にして検査官に渡すのが助手のしごとでした。検査にまわってわかったことですが、どんな田舎にいても、小学校長と警察署長は日本人でした。

その頃から、私は内部で唯ひとり、銃剣術の有段者である准尉と共に、京城市内の女学校や国防婦人会のナギナタや竹槍訓練にかり出されるようになりまし

寄稿 私の戦争体験 (69)

戦争体験手記募集を見て、お寄せいただいた手記を順次掲載しています。

曹長がいました。彼は現役の若者でした。内部の人事異動で、彼もわたしと机をならべるようになり、よく銃剣術の相手をしていました。親しくなり彼の官舎(曹長任官何年か経つと、営外曹長といって官舎が与えられた)にときどき招かれて、酒をくみかわしました。

20年8月1日、珍しいことに彼は姿を見せませんでした。官舎に連絡しても通じません。何だか不吉な予感が走り出しました。主任も私の表情に気づいて、彼の机をあけました。まさかと思

いながら、私の机の小抽出をあけてみたら、「地下曹長殿」という封書が出てきました。主任が封をきってみると、「一あとよろしくたのむ」旨の便箋が一枚はいつてみました。

主任が「松林だ」と叫びました。わたしは官舎へ走りました。玄関を開けて中へとびこみましたが、人かげはありません。急ぎ陸軍病院裏の松林に走りま

した。小高い松林の中を「三原曹長」と一同に連呼しながら登る途中で、「ここだ」という叫び声に一同がかけよりました。彼は、首に軍刀をつきさして、穴の中にすわっています、首すじにはカミノリでかききつ

たいて筋もの傷あとがついています。死にきれないでカミノリをあてたのです。

それでもまだかすかにうめ

いてはあきません。かたわらには自ら穴を掘るのに使ったであろうシヤベルがなげだされていま

した。そこから少しはなれたところに、赤ん坊をだいた奥さんが、手をあわせて穴の中に息たえていま

した。

穴の前には、お盆にご飯とお水供え、線香の煙がたっていました。そのいたましい姿に、思わず目をそ

むけないではいられませんでした。異郷の空の下で、主人だけを頼りに赤ん坊の無事な成長を願っておられた若くて、しとやかな奥さん、赤ん坊まで死の道連れにしなければならなかった、何があつたといふのでし

う。あの誠実で、温厚な曹長の一面に、こんな残酷性もかくされていたといふのでしようか。短い間ではあつたけれど親んできた私には信じがたいことでした。

急ぎ曹長をかかえだして、陸軍病院に運びました。人間が、自分の手で死ぬといふことは、何と難しいことだろうと、思わずにはいら

れませんでした。

私宛に残された手紙があつたといふことで、さっそく憲兵隊から呼び出します。自殺の原因を何か知つてらるだろう。それを文章に書けといふのです。私には何もわかつていないので

す。そんなこと曹長だつて他人に話すわけではありませ

ん。ふだんの仕事ぶり位しかわからないといつて、書くと、こんなものではわからん、真実をかけといつて次の呼び出しを待つことになりました。

ところが、二回目の呼び出しの前日、敗戦八月十五日をむかえてしまつたのです。呼び出しどころか憲兵隊もわが身の処置に取りくまなければならなかつたことでしょう。三原曹長がどうして自ら死をえらばねばならなかつたか、今もつて私には思い当たりませ

んが、唯一つ考えられることは、兵事勤務の長い彼は、部内の人間關係の軋轢があつたのではない

だろうかと、思つてみるのです。ともあれ、戦時下という異常な状態がひきおこした事件であることは、疑いないこと

です。

その後、曹長は一命をとりとめたといふことを何かの折に耳にしましたが、敗戦後の困乱に翻弄されて、それを確かめるすべもありませんでした。

(続く)

この手記は1982年に執筆されたものです。

お楽しみクイズ クロスワードパズル

●応募方法/郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入のうえ、〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2 友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてに郵送か、FAX(072-244-7860)、下の二次元コードで取得できるメール(tomokenkou@mihara.or.jp)に。

●しめきり/2024年4月10日(水)消印有効

●当選発表/厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード5000円分)を。賞品の発送をもって発表に替えさせていただきます。

●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。

タテのキー
①私立学校の略
②誰にもわかるよう化する
③速度がはやい。道がある

カギを解き、二重ワクに入る文字をABC順に並べてできる言葉は何?

1		2		3	4
	B				
		5		6	
			D		A
7	8		9		
		10	11		12
				13	
14				15	
	F			E	
16				17	
					C

④晴らし
⑤書き算盤
⑥と日曜日は休業
⑦数え年の70歳。を祝う
⑧ふじ、紅玉などの品種がある

①真の値打ち
②亀の―より年の―
③証拠
④三々―の盃
⑤手前―を誇る
⑥タテの対
⑦タテの対
⑧きんどん
⑨別居の対
⑩―を洗って待つ
⑪戦前の対

⑬を以て―を制す
⑭落語の―に行った
⑮「E」のキー

●1月号の答
「ジンドウキキノパレスチナ(人道危機のパレスチナ)」
●応募数/151通
●正解者数/139人

短歌
ふるさとの隣の能登の朝市は
地震に津波火災で消えた
小中高定期券持つ孫が
春大学通う徒歩で十分

俳句
ほら貝を吹いて寒中托鉢へ
蒼天に千木の輝き初詣
襦袢着て父のしぐさのおもしろや

川柳
物価高追い打ち値上げ国保料
派閥力ネ無くば君達どう生きる

古賀 光政
堀西 和子
深谷 風山
高野 純
北口 陽子
上田 雅子
岡本 雅子

＊句を詠む時の情景や思いもお寄せください。
＊俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2024年4月10日(水)です。
＊特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。